８月　バレー部（女子）

◇　ひょうご・ハバロフスク青少年スポーツ交流事業に本校バレー部の１人（２年生・女子）が選手として選抜

・女子バレー部の仁科柚香さん（２年）が、兵庫県とロシアのハバロフスクの女子バレーチームとのスポーツ交流選手のメンバーに選ばれました。
・仁科さんは、昨夏、１年生の時、選手としてハバロフスク市へ派遣されています。

・来県期間は、８月22日(火)～27日(日)の６日間で、この間明石市内や神戸市内の高校で４試合の親善試合を行いました。
・８月25日（金）には、午前中に御影高校で親善試合をしたあと、兵庫県の選抜チームの選手ととハバロフスクの選手が一緒に三宮やUMIEに行って、仲良く観光をしたり買い物をしたりという交流も行いました。

８月25日　御影高校での親善試合

○　交流を終えての仁科さんの感想

・ハバロフスクの選手との交流について
「会話はお互い英語で行いました。交流の時や一緒に観光や買い物をした時、お互いに積極的にコミュニケーションをとっていく大切さを実感しました。」

・選抜チームの一員として試合に出場したことについて
「ハバロフスクの選手の身長は高かったので、どう試合を展開していったらよいかを考えることになり、勉強になりました。」
「県内の他の高校の選手とチームを組むことができて、周りの選手の上手さと、モチベーションの高さに大変刺激を受けました。」

おつかれさまでした。

＜兵庫県とロシアハバロフスク市との交流＞

昭和44年に姉妹都市交流協定を締結、平成21年に友好提携40周年記念共同声明を発表し、翌平成22年より青少年によるスポーツ交流をすることで合意しました。

今回の交流事業の趣旨は、「ロシアのハバロフスク青少年スポーツ交流団を受け入れ、スポーツを通じて相互の文化を理解し、国境を越えた交流を深めることにより、グローバルな視野と感覚を身につけた青少年を育成するとともに、本県とハバロフスク地方との友好関係の更なる発展に寄与する」こととされています。